

かめま社協だより

第230号

令和2年12月25日発行

—編集及び発行—
鹿沼市社会福祉協議会
電話 65-5191
印刷 (有)ワムプラン



「災害ドキュメンタリー撮影好調」

昨年の令和元年東日本台風は鹿沼市にも甚大な被害をもたらしました。災害の記憶は時間とともに薄れていってしまいます。社協ではそれを記録として残し、今後の地域防災や減災、避難行動に繋げるため、昨年の被災経験を中心に災害ドキュメンタリー番組を鹿沼ケーブルテレビと共同で制作しています。

鹿沼高等学校放送部の2年生小笠原歩未さんと福田真生さんが栗野地域を中心に、自治会長、民生委員児童委員、地域住民の方や小中学生にお話を聞きました。

この番組を通して災害を経験していない方や若い世代の方にも災害を知ってほしいと思います。

現在、番組は制作中ですが、今年度中に鹿沼ケーブルテレビで放送予定です。

災害ボランティア活動に興味や関心がある方はぜひ社協までお問合せください。



「かめま社協だより」は、市民の皆様からいただきました社協会費と赤い羽根共同募金の



の配分金などで作成しています。

ヤングケアラーは近くにいます



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 2015

ヤングケアラーとは病気や障害のある家族や親族のケアをしている18歳未満の子どものことです。

コラム ヤングケアラーへ介護する子どもたち

齋藤 久美子

NO.1

私は鹿沼市内在住の社会福祉士です。最近、新聞等でもよく目にするようになった「ヤングケアラー」とはどんな人のことを言うのか、そしてどんなことに困っているのかについてお話ししたいと思います。

まず、「ヤングケアラー」は病気や障害のある家族や親族のケアをしている18歳未満の子どものことです。ケアの内容は大人でも適切な対応や寄り添いをするのは難しいと思いますが、子どもにとっては病気や障害があるとうと無かろうと、かけがえのない大切な家族に変わりはありません。

そこで、家族の困りごとを目の当たりにして子ども自ら役に立とうとします。家族を思う気持ちを示せるたった1つの方法がケアであり、ケアをすることで大切な居場所である家庭を守ろうとするのです。さらに、子どもは自分が未熟であることをよく分かっています。お金を稼げない分、何が出来るかを見つけて行動に移して行くので、とても健気でまっすぐな愛情と言えますが、それを美談で終わらせることはできません。

そんな子どもたちが担うケアは、いつしか年齢に見合わないほどの量に増えてしまうことがあります。なぜなら、成長と共に出来ることがどんどん増えていきますし、対象の家族が増えることもありますし、症状が悪化する場合にはケアの時間も増加するからです。

子どもにとって、家族の困りごとは1つだけではありませんし、友達や他者に気軽に話せるものでもありません。何よりも、ケアが恒常化しているため気付いた時には、助けて欲しくても何をどう困っているのかさえ既に自分でも分からず、誰にSOSを出したらいいのか分からなくなっている場合もあるのです。

こうして家族のケアと学業を並行しながら、ついには学校にも行けなくなり社会から孤立してしまうケースもあります。

特に問題なのは、子どもの成長と共に進学や進路で自分の人生を考えた大切な時期が来ることです。自分の夢を諦めて、葛藤を抱えながら長期化している家族のケアのために、生きることを選ぶケースが少なくありません。多感な時期に、周りの友達と同じように自分だけの時間を好きなように過ごせないことで、友人関係やコミュニケーションへの自信も失っていくことがあります。場合によっては、引きこもりとみなされることもあると思います。そんな子ども達に「家族の面倒を見ていて偉いね。」と片付けてしまうようなことはできないのではないかと思っています。

今後も「ヤングケアラー」の由来や海外の取組みなどをお伝えしたいと思います。

高齢者サロン「下永野よつ葉会」元気に再開！

コロナ禍により休止していた高齢者サロン「下永野よつ葉会」が9月から再開しました。10月にはふまねっとインストラクターの相澤さんをお招きし、認知機能・歩行機能の改善に効果があると言われる「ふまねっと運動」を体験。換気や消毒には十分気をつけながら、みなさん大盛り上がりでした！



「学校福祉体験&福祉講演会」を実施

社協の「ふくし講座」として、6月17日に南押原小学校の3年生と4年生、11月6日に東小学校の4年生を対象に車いす体験と視覚障がい者体験を行いました。



車いす体験ではちょっとした段差を乗り越えることの難しさを感じてもらったり、アイマスクをして白杖での歩行をすることで普段分からないことに気づくことができました。

11月11日は鹿沼南高校の1年生・2年生を対象に福祉講演会を行いました。今回は市内で福祉・医療の現場で活躍してる方々が講師となり、発達障害における特性を理解したり、高齢者や困難を抱えている方への支援についてふれることができました。高校生にとっても自分の生き方や進路を考えるきっかけにもなったようでした。また、困ったときに声があげられること、支える側も支えられる側もお互いさまなんだという感想がありました。

みんなで考える加蘇地区での防災講座

加蘇地区では6地区すべての「地区防災計画」策定のための説明会及び防災講座が複数回、行われました。

防災講座の内容により多彩な講師陣が「災害はすぐそばまできている。地区で1人の犠牲者も出さないためにみんなでできることを考えよう」と呼びかけ過去の災害のリアルな映像や最近の傾向をわかりやすく説明。地区ごとに分かれ災害時に役立つ施設や危険な箇所を地図に書き込むための「まち歩き防災マップ」や「避難所運営シミュレーション(HUG)」などを実施しています。



各地区からは「実際にそのような状態になったら何が正しいだろう」、「この判断は間違いではないが、もっと他の方法はないのかな」などと課題も見つかり、とても盛り上がりしております。

寄附の報告

寄附物品

- 第一生命保険鹿沼分会 様 . . . タオル36本 ⇒ 福祉のために
- 第一生命保険株式会社 様 . . . マスク1,000枚 ⇒ 福祉施設へ
- 大谷精肉店 様 鶏モモ肉12kg ⇒ こども食堂ネットワークかめまへ
- 歌う海賊団ッ！ 様 コンサートチケット100枚 ⇒ こども食堂ネットワークかめまへ
- 日本生命鹿沼営業部 様 アルコールハンドジェル（定期的に補充含む）⇒ 鹿沼市総合福祉センターへ



皆さまのあたたかいお気持ちを
ありがとうございます。
令和2年9～11月受付分



寄附金

- 匿名 5,000円 ⇒ 災害ボランティアチームかめまへ
- 大塚美津子 様 30,000円 ⇒ 災害ボランティアチームかめまへ
- 大類一雄 様 1,832円 ⇒ 鹿沼市手をつなぐ育成会へ
- 鹿沼市老人クラブ 様 . . . 13,100円 ⇒ 福祉のために
- 短足爺 様 30,000円 ⇒ 子どもたちのために



指定のない寄附金は、鹿沼市内の福祉のために使わせて頂きます。



第一生命保険鹿沼分会 様



日本生命鹿沼営業部 様



大谷精肉店 様



第一生命保険株式会社 様

国際医療福祉大が粕尾小に遊具を寄贈

11月12日(木)大田原市にある国際医療福祉大学が昨年の令和元年東日本台風の影響により、体育館や校舎の裏側が土砂に巻き込まれる被害のあった粕尾小学校に、遊具を寄贈しました。

この寄贈はベルマーク運動を基に行われ、大学の学生や教職員、地域住民や企業から集まったベルマークを活用し、ボールなどの遊具をお届けしたものです。

全校生徒を代表して5、6年生11名がそれぞれの物品を受け取り、6年生の河上宗十朗さんが「とてもうれしい。この気持ちを忘れないで楽しく使いたい」とお礼の言葉を述べました。



鹿沼東高の生徒が清洲第一小に集めた本を提供

10月22日(木)に鹿沼東高等学校JRC部が全校生徒に呼びかけて集めた本、63冊を鹿沼市立清洲第一小学校にお届けしました。

昨年の令和元年東日本台風の影響により校舎の一部が浸水し、小学1、2年生の教室にあった学級文庫が被災していました。このことを知った鹿沼東高1年生の大島野々花さんが「コロナ禍でもできる支援方法」を考え、9月の初めから昇降口付近に本の提供を呼び掛けるポスターを設置。さらに週に1回、校内放送で全校生徒に呼びかけました。

清洲第一小学校を代表して本を受け取った4名の児童からは「本を受け取ってとてもうれしい」、「読むのが楽しみです」と嬉しそうな様子でした。



初心者歓迎！「成年後見のそもそも話」

成年後見制度ってなんだろう？どういう時に必要？
そんな疑問を持っている方
基本的な成年後見制度について学んでみませんか？

日 時：令和3年1月26日（火）
13：30～15：00

場 所：鹿沼市総合福祉センター 2階 大会議室

講 師：司法書士 佐伯祐子 氏

定 員：20名

受 講 料：無料

問合せ先：地域福祉課権利擁護係

TEL 63-2817（担当：福田・塚田）



引きこもり家族会からのお知らせ

同じ悩みを持つ家族同士が「不安な気持ち」を安心して話し合える場です。ひきこもりに関して悩みを抱えている方、ご家族がひきこもり状態にある方など、どなたでも参加いただけます。

[お約束ごと]

- この会で話された内容は秘密厳守です。
- みなさんが気持ちよくお話しができるよう心がけましょう。
- 聞くだけの参加でもOKです。

日 時：**令和3年1月21日（木） 14時～**

場 所：鹿沼市総合福祉センター 2階 会議室

問合せ先：地域福祉課地域福祉係

TEL 65-5191（担当：神山・若林）

【今後の予定】

2月18日（木）14：00～

3月18日（木）14：00～



初めての点訳講座

街の中や私たちの生活用品等でよく見かける点字。

「この点字、なんて書いてあるんだろう？」と気になった事はありませんか？皆さんも点字を読み書きできるようにチャレンジしてみませんか？

初歩の点字を学べますので、ぜひお申込みください！

日 時：令和3年1月21日～3月25日（2月11日は祝日の為 2月10日に振替）

毎週木曜日（全10回）

10時00分～12時00分

場 所：鹿沼市総合福祉センター 2階 生きがい広場

定 員：20名

対 象 者：鹿沼市在住・在勤の方

受 講 料：無料（ただし、テキスト代750円別途がかかります。）

問合せ先：地域福祉課地域福祉係

TEL 65-5191（担当：柴田雄）



非常勤職員（ホームヘルパー）募集

鹿沼市社会福祉協議会では、訪問介護・障害福祉サービスを行う非常勤職員「登録ホームヘルパー」を若干名募集します。

(1) 募集事業

訪問介護・障害福祉サービス事業における訪問介護員（ホームヘルパー）

(2) 条件及び応募方法

①賃 金 「非常勤職員雇用に関する要綱」による

＜時給：介護職業務 1,250円・看護職業務 1,375円＞

②資 格 介護職員初任者研修修了者(ヘルパー2級)以上の有資格者または看護師

③職務内容 訪問介護・障害福祉サービス事業

・朝・晩・土曜、日曜、祝日も活動できる方大歓迎です。

・直行直帰が基本のお仕事です。

・勤務時間は、月間勤務表により活動していただきます。

※なお、状況により本会の取り組む介護保険事業、障害福祉事業の応援をしていただくこともあります。

④勤務時間 1週20時間以内の範囲で調整します。

⑤そ の 他 勤務時間に応じて有給休暇の取得ができます。

※電話連絡の上、履歴書・資格証の写しをご持参下さい。

※詳細についてはお気軽にお問合せください。

問合せ先 介護・障がい福祉課在宅サービス係

TEL 62-4127 (担当：早山・川田)



「生活が苦しい方にお米などを配布します」

鹿沼市社会福祉協議会では、生活が苦しい方に、寄付いただいたお米などをお渡しする「フードバンク」を行っています。

フードバンクに寄せられたSOS

- 夫が派遣切りに遭い、妻もうつ病で働けない・・・
- 子どもと暮らすシングルマザー。コロナでパートのシフトが減り収入もダウン・・・
- 外国籍の男性。派遣切りに遭い仕事が見つからない・・・
- 高齢者世帯。年金だけでは生活できず、バイトも入れなくなった・・・



●●●●●●●●●● 食 品 の 寄 付 募 集 ! ●●●●●●●●●●

フードバンクでお渡しする食品を募集しています。

- ・賞味期限が1か月以上あるもの
 - ・常温保存可能なもの
- 特に缶詰・レトルト食品・インスタントラーメンが好まれています。

問合せ先：地域福祉課権利擁護係

TEL 65-5191 (担当：菊地・石塚)

